

令和5年7月24日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課

課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)

特定非営利活動法人あしやNPOセンター

事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 6 事業報告書

- 1 日 時：7月21日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：19名（会場13名、オンライン4名、ゲストスピーカー2名）
- 4 ゲストスピーカー：熊懷 賀代さん、弓立 瑤子さん
(NPO 法人「絵本で子育て」センター)
- 5 事業詳細
 - (1) 目 的：「絵本で子育て」センターが絵本講師養成講座を20年間続けてきた活動の紹介と子育てへの思いの話を通して、絵本の読み聞かせの可能性と伝える人を育てる大事さについて学ぶ。
 - (2) 内 容：「絵本で子育て」センターの絵本講師の熊懷さん、弓立さんによる団体のこれまでとこれからの取組み活動の紹介をしてもらった後、参加者と意見交換、情報を行った。
- 6 アンケート内容（8件の回答と会場での意見交換を記載）
 - ・とても役立った…7件、少し物足りなかった…1件
(コメント)
 - ・子どもの時だからこそその親子の共有の時間を大切に、生の言葉で絵本を楽しむことの素晴らしさを体感してほしい。ということが同じ思いだったので、とてもスッキリしました。
 - ・活動は素晴らしいと思いました。しかしながら、70歳代の私にとっては全く高齢者は仲間に入っていないような錯覚に捉われました。絵本はとても大切ですが、日々の生活の営みから学べる環境づくりも大切だと思います。子どもは絵本の内容を理解できるというよりももっと、優しく読んでくれた温もりを覚えている幸福感が大切のように思います。絵本が子どもたちを大切に育てる力になればいいなと思います。限られた子どもたちだけでなく全ての子どもたちにチャンスがあればいいのと思います。
 - ・私も絵本講師になり13年目です。普段、小学校の現場で先生方や子どもたちに絵本の読み聞かせを広めたくて独自に活動していますが、母と子だけでなく、そんな話も知って頂きたかったです。今日、お二人のお話をお聞きして原点に立ち返り、本当に大切なことを再確認することができました。色々な場所

で色々な絵本講師が様々な取組みをしています。そんなことも知ってほしいなと思いました。

- ・絵本は大人が子どもに読むことで子どもとの時間が共有できる。今、とても必要なことではないかと思います。
- ・お母さん自身にまず絵本の魅力を伝えるのが大事だということがよく分かりました。
- ・お話しいただいた内容については賛同しています。ありがとうございました。
- ・たくさんの優しい愛溢れるのチカラをしみじみ感じる時間でした。絵本についてこういう ZOOM で参加できる会があるのは素敵な試みだなと感じました。ありがとうございました。
- ・絵本講師養成講座の講師陣がほぼ男性が占めているのは解せない。子育てとして絵本を読み聞かせをするには今日のお話しでも然り、母親ではないかと思うのだが何故なのでしょう。

7 振り返り

- ・アンケートの感想欄に長文で回答された方が何名かいたことから、内容への関心の高さを感じた。絵本の読み聞かせ活動している女性、絵本の創作をされている男性の参加もあり、もっと意見交換の時間を設けるなどの時間配分に配慮が必要であった。
- ・スピーカーの弓立さんの声が小さく、会場参加の方から聞こえづらかったので配慮が欲しかった旨の感想があった。

以上

